

解 答 速 報

藤田医科大学(前期) 英語

2023年 1月 19日実施

マーク解答

第1問	1	2	3	4	5	6		
	(4)	(1)	(3)	(4)	(3)	(4)		
第2問	7	8	9	10	11	12	13	14
	(4)	(7)	(6)	(3)	(7)	(3)	(3)	(5)
第3問	15	16	17	18				
	(4)	(1)	(4)	(3)				
第4問	19	20	21	22				
	(3)	(1)	(3)	(1)				

記述解答

第5問

問 1	1876年にワーグナーの楽劇が上演された際に、ヴァイキング役に角の生えた兜が衣装として用いられ、その公演から25年以内に、ヴァイキングと言えば角の生えた兜というイメージが定着した。
問 2	ヴァイキングがブリテン諸島を植民地化し、北アメリカまで航海していたのが紀元後1000年頃と知られているが、Vikso 兜に用いられた有機物由来の接着剤に対して放射性炭素年代測定を行い、それが紀元前950年頃のものだと特定することで推測された。
問 3	平等主義的な様式から、宗教的・政治的権力をもつ個人を大きな墓で豪華な副葬品と共に葬る様式への変化。(49字) 【別解】 平等主義的に見えるものから、墳墓や豪華な副葬品を伴い階級制度の成立を思わせるものへの埋葬様式の変化。(50字)
問 4	暴力と民族主義、個人主義に基づいて、領土拡大と帝国形成を目指すことをよしとする考え方。
問 5	あ

第6問

(1)	In contrast, when they sat at table for lunch or dinner, they looked forward to more various dishes and wanted to have a more pleasant experience through the meals. (別解) By comparison, when those people sat down to lunch or dinner, they expected greater variety and wanted a more pleasurable experience from their meals.
(2)	Almost every organism faithfully follows these 24-hour cycles, which regulate changes in the body, mind, and behavior. (別解) Nearly all creatures adhere to these twenty-four-hour periods, which govern physical, mental and behavioral changes.
(3)	the scientists questioned whether or not psychological factors related to circadian rhythms could also have influence on what people ate for breakfast, lunch, and dinner. (別解) the scientists questioned if psychological determinants linked to circadian rhythms could also influence what people ate for breakfast, lunch and dinner.

解説

第1問

文法・語法

- 問 1. (4) “window of opportunity” 「絶好の機会」
(2) open the door of opportunity to 人 「人にチャンスを与える」
- 問 2. (1) “It dawned on me that ~” 「～だと気が付いた」
dawn on 人 that ~ 「人が (that 以下) ということに気が付く」
(2) remind A of B 「A に B を思い出させる」
(3) It strikes 人 that ~ 「～という考えが人の心に浮かぶ」
(4) think up ~ 「～を考え出す, 発明・考案する」
- 問 3. (3) “~ be observed hanging around ...”
hang around 「(当てもなく) ぶらつく」
受動態の文であり、原形不定詞は使えない。
observe は知覚動詞なので、observe O doing ~ の形で用いることができる。
- 問 4. (4) “quite a bit of room for improvement” 「かなりの改善の余地」
room は「余地」という意味の時は不可算名詞であり、(1)、(2)、(3)は可算名詞にしか使えない。
(1) a good many ~ 「非常にたくさん」
(2) a large number of ~ 「非常にたくさん」
(3) only a few ~ 「ごくわずかの～」
- 問 5. (3) “Suppose the sun were to rise in the west and set in the east,” 「万一太陽が東から昇り西に沈めば」
suppose に接続詞 if と同じ用法がある。
<If S' were to V' ..., S would V ~.> 「万一 S' が V' するならば、S は V するだろう」
- 問 6. (4) “twice the length of ~” 「～の2倍の長さ」
<倍数+名詞> 「～倍の名詞」

第2問

語句整序

- 問 1. (4) (7) (Who do you) **think that he believed was the right** (person for that job?)
You think that he believed was the right person for that job. を疑問文にしたもの。
- 問 2. (6) (3) (Surprisingly, the) **highest priced was a work by an unknown painter** (.)
high(-)priced 「高価な」の最上級 highest(-)priced を用いる。
- 問 3. (7) (3) **It threatens to rain as I feared** (it would.)
threaten to do ~ 「～する恐れがある」
- 問 4. (3) (5) **There remain three (major) flaws that need resolving** (in this plan.)
flaw 「不備、欠陥」 <S need doing ~> 「S は～される必要がある」

第3問

長文総合

- 問 1. (4) 「人々を満足して、精神的にも肉体的にも健康でいられるようにするもの」
今回取り上げられている研究でわかったこと（結論）に注目することで、研究の目的が逆算できる。その結論は、最終段落第2文及び最終文から明らかになる。第2文のおよその意味は「しかし、私たちの研究で示されたのは、家族、友人、地域の人々との結びつきが強い人たちの方が、つながりの薄い人たちよりも幸せで、肉体的に健康で、長生きしているということでした」である。これをまとめたものが(4)である。
- 問 2. (1) Those who are more **isolated** than they want to be find that they are less happy, ~ than people who are not lonely.
「自分が望むよりも孤独である人々は、孤独ではない人々よりも不幸せで、～であるとわかる」
幸せな人生を歩めていない人々のことを説明しているので、問1で確認した「人とのつながりが薄い」ことを意味する語が必要であるとわかる。
- 問 3. (4) 「その研究は包括的手法を用いて、被験者たちの生活の様々な側面の調査している」
第6段落第2文が根拠となる。被験者たちの生活ぶりを明らかにするために、アンケートの送付だけでなく、リビングでの聞き取り、診療情報、血液、脳スキャン、被験者たちの子供や妻との会話などを調査したことが述べられている。
- 問 4. (3) 「人とのつながりが、被験者たちの寿命を決定する要因であると特定された」
調査結果については、問1でも確認したように最終段落で述べられている。

第4問

長文総合

- 問 1. (3) Sail swallowtails — found throughout Eurasia — sport two, conspicuous black tails on hind wings with some blue and orange spotting, **contrasting greatly with the rest of the insects' yellow, striped coloration.**
空所(あ)を含む文のおよその意味は「ユーラシア大陸全域に分布するヨーロッパタイマイは、後翅に目立つ2本の黒い尾を持ち、青とオレンジの斑点があり、他のアゲハチョウの黄色で縞模様の配色とかなり対照的なのだ」である。空所の前後において、チョウの模様、配色が対比的に述べられている。

問 2. (1) artificial 「人造の」

空所を含む英文の前半に、“~ dummy butterflies made from gluing real swallowtail wings to a fake body made of small pieces of black cardboard, ~” 「厚紙の小片でできた偽の胴体に本物のアゲハチョウの翅を接着して作られた模造のチョウ」とあり、これが the faux insects を指す。

問 3. (3) 「73」

第 5 段落第 1 文より、調査の間に採集されたアゲハチョウの全数は 138 羽であるが、第 6 段落第 1 文より、翅に怪我をしているのは 65 羽である（しかも、それらは全て少なくとも一つの後翅に怪我があるという）。よって、怪我をしていないのは残りの 73 羽であることがわかる。

問 4. (1) 「チョウの尾は生命に関わる部分から捕食者の目をそらし、それゆえアゲハチョウが生き延びることを可能にしている」

研究でわかったこと（結論）は第 1 段落 “On some butterfly wings, ‘tails’ may be more than just elegant adornments. They’re survival tools too, a study suggests.” で端的に示されており、そのおよその意味は「一部のチョウの翅に関しては、『尾』がただ優雅な装飾品にはとどまらないかもしれない。ある研究によれば、それらは生存の道具でもあるのだ」である。

第 5 問

長文総合（※以下解説の段落番号は、問 5 で段落挿入を行った上での番号となる。）

問 1. ヴァイキングが角の生えた兜をかぶっているというイメージが定着した経緯については、第 3 段落に述べられているので、そこから要点を抜き出して解答とすればよい。同段落第 2 文には「～、ヴァイキングが初めて角を与えられたのは、1876 年に上演されたドイツの作曲家ワーグナーの楽劇においてであった」とあり、さらに同段落最終文では「その公演から 25 年以内に、角の生えた兜は、紀元後 1000 年頃にブリテン諸島を植民地化し、北アメリカまで航海していたスカンジナビア半島の襲撃者と同義になっていた」と述べられている。この「同義になっていた」の部分はそのまま用いると経緯の説明として不自然なので、解答例で示したような若干の言い換えが必要だろう。

問 2. 設問で求められているのは、「下線部《A》に述べるヴァイキングの時代の 2000 年前という年代はどのような方法で推定されたのか」ということであり、単に Vikso 兜がどのように年代測定されたかということではない。したがって、まずはヴァイキングの時代がいつだったのかを明確にする。その上で、実在した角の生えた兜（Vikso 兜）の年代を特定することで 2000 年前という数字が算出されたことがわかるように答案を作成する。

ヴァイキングの時代については、第 3 段落最終文に述べられており、「紀元後 1000 年頃にブリテン諸島を植民地化し、北アメリカまで航海していた」ことが確認できる。

次に Vikso 兜の年代については、第 7 段落に述べられており、それらのおよその意味は「デンマークの考古学者チームは、角を固定するために使われていた有機物由来の接着剤を爪幅程度削り取った。その物質の放射性炭素年代測定の結果、接着剤が最後に塗られた、したがって兜が最後に使用された可能性があるのは、紀元前 950 年頃であると判明した」である。これらの情報を基に、わかりやすく内容をまとめたものが解答例である。

問 3. 下線部《B》のおよその意味は「埋葬様式が変化していた」である。こうした「変化」について対比的に述べているのは、第 11 段落第 7 文であり、そのおよその意味は「それは、さらに以前のより平等主義的に見える埋葬習慣とははっきりと異なっており、こうした象徴化は新しい種類の階級制度の成立に伴ったものであったのかもしれないということを示している」である。ただし、変化以前の「より平等主義的」にしても変化後の「階級制度」にしてもそれは様式そのものの内実ではなく、むしろそうした様式を生み出す社会的な背景に過ぎないので、これだけで記述を終わらせるわけにはいかない。変化以前の様式については本文中に言及がないのでやむをえないが、変化後の様式については同段落の第 1 文から第 6 文にかけて具体的な記述があり、その内容

を用いて補う必要がある。

①政治的・宗教的権力(第1文)

②巨大な墳墓(第3文)

③黄金製の工芸品や巨大な酒杯(第5文)

以上のポイントをまとめて解答とするが、こうした内容を入れてしまえば階級制度が形成されていたことは自然と示唆されるので「40字から50字」という指定を鑑みれば、様式についての具体的な説明だけでも解答として十分だろう。

問4. 問題文中の「問1の兜」とはヴァイキングの角が生えた兜であり、この造形の背景にある考えは最終段落第2文に示されており、Vikso 兜についても同段落第3文で「同様の価値観を具現化する目的で作られていた可能性がある」とあるので、結局第2文の内容をまとめれば良い。そのおよその意味は「フランクの記すところによると、ヴァイキングの角が生えた兜の意匠は、暴力・民族主義・個人主義に心奪われた『領土拡張主義・帝国形成の時代』に由来した（こうした潮流は数十年も経たないうちに第一次世界大戦を引き起こすことになる）」である。

問5. 挿入すべき段落の第1文で、“**The first thing that probably jumps out you here** is that there are no horns.” 「ここであなたの目に最初に飛び込んでくるのはおそらく、角が生えていない兜だろう」とあることから、問題冊子9頁に掲載されている最初の写真に言及していると考えられる。実際この写真中の兜には角が生えていない。従って、【あ】が適切な挿入箇所となる。

第6問

長文中和文英訳

問1. 「それに対して、その人々が昼食あるいは夕食の席につく場合は、より多様な献立を期待し、食事を通してより楽しい経験をしたと思っていた」

本文中にある表現から、「昼食」は lunch、「夕食」は dinner、「～を期待し」は expect、「食事」は meal などを利用するとよい。「それに対して」は in contrast / by comparison / on the other hand、「その人々」は those people、「席につく」は sit at table / sit around table / sit down、「より多様な献立を期待し」は expect greater variety / look forward to more various dishes、「食事を通して」は through the meals / from their meals、「より楽しい経験をしたと思っていた」は wanted to have a more pleasant experience / wanted a more pleasurable experience などとするとよい。

問2. 「ほとんど全ての生物は、身体・精神・行動の変化を統制するこれらの24時間周期に忠実に従っている」

本文中にある表現から、「身体」は body、「行動」は behavior、「統制する」は regulate、「従っている」は follow などを利用するとよい。「ほとんど全ての生物」は almost every organism / nearly all creatures、「身体・精神・行動の変化を統制する」は regulate changes in the body, mind, and behavior / govern physical, mental and behavioral changes、「これらの24時間周期に忠実に従っている」は follow these 24-hour cycles faithfully / adhere to these twenty-four-hour periods などとするとよい。

問3. 「その科学者たちは、サーカディアンリズムと関連している心理的要因もまた、人々が朝食、昼食、及び夕食に食べるものに影響を及ぼしうるのでどうか疑問に思った」

本文中にある表現から、「科学者たち」は scientists、「サーカディアンリズム」は circadian rhythm 「心理的」は psychological、「要因」は factor、「朝食」は breakfast などを利用するとよい。「～と関連している心理的要因」は psychological factors related to ~ / psychological determinants linked to ~、「人々が朝食、昼食、及び夕食に食べるもの」は what people ate for breakfast, lunch, and dinner、「～に影響を及ぼしうるのか」は can have (an) influence on ~ / can influence ~、「～疑問に思う」は question if ~ / question whether or not ~ / wonder if ~ などと表せるが、今回は直後に“those questions”とあるので、動詞として question を使うのがよいだろう。

講評

- 第1問 [文法・語法 4 択] (標準) 標準的な良問。しっかり得点したい。
- 第2問 [語句整序] (標準) 標準的な良問。空所以外の語句とのつながりを手がかりにすることで、正解にたどり着きやすい。
- 第3問 [長文総合] (やや易) 「幸せ、健康、寿命を決定する要因」に関するスピーチを基にした英文。2023 年度ふじた未来入試における出題形式と同じで、対話文ではなく、スピーチ原稿が取り上げられている。結論が冒頭では示されないが、ある程度予想できる内容であり、取り組みやすい。
- 第4問 [長文総合] (やや易) 「チョウの尾が果たす生存に関わる役割」に関する英文。2023 年度ふじた未来入試における出題形式と同じで、文章内容も比較的平易で取り組みやすい。
- 第5問 [長文総合] (やや難) 「角つき兜に関する文化的・歴史的考察」に関する英文。設問は何を答えるべきか明瞭に示されている。珍しく字数指定の説明問題が出題されたが、要約的なアプローチが必要でやや難しい。
- 第6問 [長文中英訳問題] (やや易) 「どうして人は朝食に同じものを食べるのか」に関する英文。下線部中の日本語表現の多くは英文中にヒントがある。主に英文構造を正確に構成する力が問われているが、平易で取り組みやすい。

第 5 問がやや文系的なテーマで、受験生にとってはやや取り組みにくいですが、全体としての難易度は昨年度と同等である。1 次合格のための目標は 60%

〈〈 模試・講座のご案内 〉〉

受験相談会・後期模試・攻略講座を実施します

※詳細は最終面をご確認ください

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎.0120-146-156 まで

 医学部進学予備校 メビオ ☎.0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/	 医学部専門予備校 YMS heart of medicine ☎ 03-3370-0410 https://yms.ne.jp/	 医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校 ☎.0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/
---	---	--


 登録はこちらから

医学部受験相談会

医学部受験の悩みを講師が回答します (予約優先)

東京	2.1(水)	9:00 ~ 12:00 ビジョンセンター西新宿
金沢	1.30(月)・31(火)	9:00 ~ 12:00 ANA クラウンプラザ金沢
名古屋	1.24(火)	9:00 ~ 12:00 イオンコンパス名古屋駅前会議室
大阪	1.24(火)	9:00 ~ 12:00 クインテッサホテル大阪ベイ
神戸	1.25(水)	9:00 ~ 12:00 神戸ポートピアホテル
岡山	1.22(日)	9:00 ~ 12:00 第一セントラルビル 2 号館

金沢医科大学後期模試

大阪・名古屋会場 2.17(金) 10:00 ~ 13:00
東京・福岡 会場 2.17(金) 10:00 ~ 13:00
天満研修センター
オフィスパーク
名駅プレミアム会議室 他

金沢医科大学後期攻略講座

大阪会場 2.21(火)・27(月) 9:30 ~ 13:00
名古屋会場 2.24(金) 13:00 ~ 16:45
医学部進学予備校
メビオ校舎
オフィスパーク
名駅プレミアム会議室

藤田医科大学後期攻略講座

名古屋会場 2.25(土) 9:30 ~ 16:45
オフィスパーク
名駅プレミアム会議室

詳しくは Web またはお電話で